



2026 ALL JAPAN TRIAL CHAMPIONSHIP

全日本トライアル選手権 第7戦 和歌山・湯浅大会

ROUND
R7/10.25
SUN.

湯浅トライアルパーク

和歌山県有田郡湯浅町山田
雨天決行

全日本トライアル選手権 第7戦 和歌山・湯浅大会



一般財団法人
日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

会長
鈴木 哲夫

和歌山・湯浅大会開催によせて

本日は 2026 年全日本トライアル選手権 第7戦 和歌山・湯浅大会によるご来場いただきました。主催者を代表して、皆様を心より歓迎いたします。

今年も和歌山県湯浅町の湯浅トライアルパークにて全日本トライアル選手権を開催できましたことは、ひとえに湯浅町をはじめとする地元の皆さま、ご協賛各社、近畿地区トライアル部会そして大会運営に携わるすべての皆さまのご支援・ご協力の賜物であります。ここに深く感謝申し上げます。

さて、トライアルは卓越したコントロール技術と体力、屈しない精神力が求められる競技です。そして会場の湯浅トライアルパークは自然の岩場や急斜面など変化に富んだセクションが揃っており、トライアルの醍醐味を存分に体感できる舞台となっています。何より今大会は、IA・IB・レディースクラスにおける 2026 年シーズンの王者を決める最終戦でもあります。幾多の戦いを乗り越えてきたライダーたちが、シーズンの頂点をかけて挑む最後の戦いは見どころ満載です。ご来場の皆様には、ライダーとマシンが一体となって高度な技を繰り出す姿をお楽しみいただくとともに、惜しめない声援と拍手を賜りますようお願いいたします。

また、出場されるライダーならびにアシスタントの皆様が、これまでの鍛錬の成果を発揮され、悔いのない走り大会を盛り上げてくださることを大いに期待しております。

終わりに、大会の開催にあたり温かいご支援とご協力を賜りましたすべての関係者の皆さまに、重ねて御礼申し上げます。本日が皆様にとって忘れられない感動に満ちた一日となりますことを祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。

和歌山・湯浅大会審査委員会 実行役員 組織図

大会会長 …………… 鈴木 哲夫 (MFJ会長)	計時長 (土曜日受付ヘルプ) …………… 白井としまさ 《オブザーバー》
審査委員長 …………… 柿田 史彰	計時 …………… 高井 伸浩 田中 智也 広内 孝
審査委員 …………… 吉川 富美男 戸田 一男	本部受付長 …………… 山本 裕子
競技監督 …………… 山本 昌也	本部受付 …………… 高市なおみ
運営プロデューサー…………… 川谷 殖人	車検長 …………… 小玉 健二
審判長 …………… 増田 翔平	車検 …………… 関 正敏 堀部 正彦 高橋 良雄
セクションコーディネーター …………… 波田 親男	菊池 仁志
全体進行長 …………… 小谷 徹	入場管理 …… 西 英樹 谷 臣悟 林 大樹
競技進行長 …………… 増田 純平	…………… 爲久 航大 手塚 聖 高村 梓稀
コース進行長…………… 西村 毅	レスキュー …………… 横井 俊夫
本部ホスピタリティ長…………… 伊藤 哲嗣	ドクター…………… 川端 秀彦
ホスピタリティアシスト …… 福野 慎吾 辻 正義	MC …………… 祝 知愛
…………… 出来 時夫 廣畑 佳伸	MFJ 事務局 …………… 保田 奈那
進行 …………… 橋 郁朗 小前 文人 西佳 史	MSP …………… 平野 真弓 岩田 稔 船戸 進
…………… 松野 孝夫 川崎 正範	…………… 中嶋 宏明

■ 後援各社 (順不同・敬称略)

和歌山県、湯浅町、湯浅町観光協会、和歌山県オートバイ協議会、一般財団法人和歌山県自動車整備振興会、日本二輪車普及安全協会

■ ご協賛各社 (順不同・敬称略)

株式会社ダンロップタイヤ/株式会社ミタニ/有限会社エトスデザイン/ヤマハ発動機販売株式会社/株式会社ヴィクトリー/ヤマハ発動機株式会社/株式会社ホンダモーターサイクルジャパン/株式会社力造ばわくらふと/ SHERCO & SCORPA JAPAN / IRC 井上ゴム工業株式会社/ベータモータージャパン/株式会社トライボジャパン/株式会社アイエスツール

タイムスケジュール

7:20 ~	オープントロフィー	スタート
7:21 ~	国際B級	スタート (1分おき2台)
8:00 ~	レディース	スタート (1分おき1台)
8:05 ~	国際A級	スタート (1分おき1台)
9:44 ~	国際A級スーパー	スタート (1分おき1台)

14:40 ~	国際A級スーパー	上位10名によるスペシャルセクション (SS) スタート・2セクション
15:30 ~	大会式典、表彰式	

※タイムスケジュールは、天候その他の理由により変更される場合があります。

競技方式

国際A級スーパー	……………	10 セクション×2 ラップ/4 時間 30 分 + SS ×2セクション
国際A級	……………	10 セクション×2 ラップ/5 時間
レディース	……………	10 セクション×2 ラップ/5 時間
国際B級	……………	10 セクション×2 ラップ/5 時間
オープントロフィー	……………	10 セクション×2 ラップ/5 時間

トライアルのルール RULES

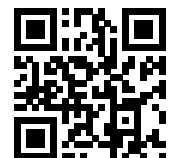
減点0(クリーン)……1分以内にセクション(採点区間)内を足を着くことなく通過
減点1 ……………1分以内に足つき(腕や頭も同様)1回のみでセクションを通過
減点2 ……………1分以内に足つき(腕や頭も同様)2回のみでセクションを通過
減点3 ……………1分以内に足つき(腕や頭も同様)3回以上でセクションを通過
減点5 ……………落車、セクション離脱、足つき後退、ループ、セクション走破に1分以上かかったなど
……………失敗"した場合

加算ペナルティ……ライダーまたはアシスタントが故意にセクション地形を変化させた場合
持ち時間 ……………スタートからゴールまで、各ライダー同じ持ち時間。1分超過ごと1点減点
合計減点数 ……………各クラスの全セクションの減点数の最も少ない者より高い順位がつけられる
同点の順位決定 ……クリーン数が多い者が上位。以下、1点、2点の数が多いほうが上位
……………すべて同じなら競技時間が短い者が上位

アシスタント……………コース上では唯一マシンに触れることができる
……………ライダーのトライ時にセクションに入り、失敗の際の手助けが可能
その他の失敗 ……マグネットキルスイッチが外れた、通過ゲートの誤りなど

2025年、2026年と、MFJトライアルルールは変革を受けています。ライダーの技術をしっかり楽しむために、規則の変更を知っておきましょう。
足をつかないバックができるようになった昨年の変更はそのままですが、セクション内をぐるぐるループするのは5点対象となりました。世界選手権など、トライアルの標準的ルールに戻った、といえるかもしれません。
自分のゲート(IASなら赤地に黄文字など)以外を通ると5点になるのもそのまま。ラインを乱した場合など、通るべきラインを見きわめながら進路を確認していくむずかしさが出てきます。
ゲートの種類や位置が確認できれば、観戦の興味も深まることでしょう。トライアルルールは多岐にわたり複雑ですが、それだけに、理解を深めれば、見えるものがちがってくるのです。

SENA



山深い沢々が、ライダーを待ち受ける 最終決戦の舞台は難関ぞろいだ。

氏川政哉 3 勝、小川毅士 2 勝、柴田暁 1 勝で迎えた湯浅決戦。
シテイトライアルジャパン大会に向けて、最後の難関に挑むのは 12 人。
難セクションを攻略するのは、誰だ ! ?

今シーズン 3 勝をあげて、初めてのタイトル獲得に向けて一直線。
ヤマハが全力を傾けて開発した TY-E 3.0 は 2 連勝を目指す。
その勢いを阻むライダーは現れるだろうか？

IA 国際A級 スーパークラス

2026 年シーズンは、氏川政哉が強い。開幕 2 連勝、第 5 戦で 3 勝目を記録し、他も確実に 2 位と 3 位に入り、ランキング 2 位の小川毅士に 36 ポイント差。この湯浅での一戦で 3 位以上に入れば、最終戦を待たずにチャンピオンが決定する計算になる。

ただ、氏川にも弱点がある。1 日を通じて圧勝したのは第 2 戦だけで、他の大会ではどちらかのラップのスコアがよろしくない。逆に言えば、失点を

負いながらも最終的に好結果を得られるのは、それだけ強さを持っているということでもある。湯浅では、そんな強さを見せてくれるのか、あるいは圧倒的うまさで勝利を飾るのか。次世代を担う 23 歳の動向に注目だ。

氏川の他は、小川毅士が 2 勝、柴田暁が 1 勝した。二人とも、この勢いに乗じてさらに勝ち星を伸ばしたいところだが、彼らに共通するのは、浮き沈みの大きいことだ。勝てる実力を備



終盤戦に登場、一躍台風の目となった黒山陣

えているのは証明済みだが、その実力をコンスタントに発揮するのが、今後の彼らの課題になる。

一方、現在ランキング 3 位の武田呼人は、第 5 戦までコンスタントに上位入賞を重ねてきた。2 位 2 回、3 位 2 回。あとは初勝利だけが残された課題だ。勝てば、一気にランキング 2 位となる。勝利の女神は武田に微笑むか。

V14 チャンピオンの小川友幸は、負傷療養から復帰し、3 位 2 位と復調ぶりを見せている。小川もまた、残るは復活勝利のみが課題。

これに世界選手権から帰国した黒山陣、野崎史高、久岡孝二らが、湯浅での勝利を目指して戦い抜く。



黒山健一以来、20 年ぶりの 20 代選手の全日本タイトル獲得の可能性が高まっている。氏川政哉、その笑顔が全日本のパドックを明るく演出する。



氏川を追うランキング 2 位争いはこの二人。左はベータに乗る小川毅士、右は Honda の武田呼人。



湯浅決戦で王座が決定するレディース IA、IBはタイトルは決まったが戦いは続く。

IA 国際A級 第6戦 宮城・SUGO大会までの獲得ポイント

2 黒山太陽 **121**point

7 宮澤陽斗 **95**point

CHAMPION



LTR レディース 第6戦 宮城・SUGO大会までの獲得ポイント

1 中川瑠菜 **140**point

4 寺澤心結 **130**point



IB 国際B級 第6戦 宮城・SUGO大会までの獲得ポイント

10 辻本雄河 **112**point

24 岩間隆介 **80**point

CHAMPION



51 楠 貴裕 **78**point

18 河野 剛 **72**point



タイトルを確定した黒山太陽 最後に笑うのは、誰？

黒山太陽は、第6戦で3勝目をあげて、最終戦を待たずにチャンピオンを決めた。ランキング2位で黒山を追っていた宮澤陽斗は、開幕戦で勝利したものの、その後なかなか好結果を残せずにきていたが、第6戦では2ラップ目にオールクリアするなど好調の走りを見せて黒山を追った。惜しくも届かなかったが、最終戦では絶好調の走りで黒山に一矢を報いたいところだ。もちろん、兵庫の黒山も、和歌山の今大会は岩場地元大会だから、負けるわけにはいかない。有終の美を飾りたいところだ。

IASの枠が、前年ランキング10位までとなったことで、IAにはIAS経験者が多くを占めている。黒山はたたき上げだが、ランキング2位から7位まではIAS経験者の超ベテランの技巧派ばかり。そんな中、黒山と同年代の永久保圭を筆頭に、IAの頂点を目指してがんばる生粋のIAライダー達のがんばりにも注目していきたい。

最終決戦のレディース 最後に勝つのは、どちら？

昨年チャンピオンの中川瑠菜は、ここまでにポイント差を10ポイントとして2連覇に王手をかけている。計算上は3位以内にいればチャンピオン決定だが、中川には勝利しか見えていない。

今シーズン、中川は2回、中学生ライダーの寺澤心結に勝利を譲るかたちになった。いずれも僅差での大接戦だったが、毎戦成長を続ける寺澤が、中川の領域に急速に近づいている証。二人は地元も近く仲良しだが、負けたくない意識は二人とも強く持っている。緊張感あふれる最終戦になるにちがいない。

その他の3人、個性あふれるソアレス米澤ジェシカ、泉愛心愛莉、中澤瑛真の戦いも楽しみだ。

ランキング2位争いは熾烈 チャンピオンは辻本雄河

開幕2連勝でスタートした辻本雄河は、第6戦をオールクリアで見事な勝利で飾ってチャンピオンを決めた。大阪の辻本にとって最終戦は、いわば地元での一戦となる。ここでもいい走りを見せ、有終の美を飾りたいところ。

国際B級のランキング争いは、同時に国際A級への昇格争いでもある。昇格できるのは上位5名。うち、左の4名は昇格切符を手中に収めている計算になる。残る昇格枠はひとつ。ゼッケン1林大作、ゼッケン3青山宏らが、残る一つの枠を争うことになる。

国際B級は多くのライダーが参戦する。時に、才能の原石のような逸材を発見するのも、楽しい。

第6戦 宮城・SUGO大会(10/11)までのポイントランキング

第7戦 和歌山・湯浅大会の「順位」と「獲得ポイント」と「合計ポイント」を記入することで最新のランキングを算出できます

IAS 国際A級スーパー

順位	ゼッケン	選手	マシン	チーム名	R1キョウセイ		R2もてぎ		R3わっさむ		R4えびの		R5灰塚ダム		R6SUGO		R6までの 合計獲得 ポイント	和歌山・湯浅		
					順位	P	順位	P	順位	P	順位	P	順位	P	順位	P		順位	獲得P	合計P
1	2	氏川 政哉	ヤマハTY-E 3.0	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	1	25	1	25	2	20	2	20	1	25	3	16	131			
2	3	小川 毅士	ベータEVO 2T	Wise Beta Racing	4	13	4	13	7	9	1	25	6	10	1	25	95			
3	7	武田 呼人	ホンダRTL301RR	TEAM MITANI Honda	3	16	2	20	3	16	4	13	2	20	8	8	93			
4	5	柴田 颯	TRRS ONE RR	TEAM TRRS & NILS OIL	2	20	5	11	1	25	5	11	5	11	6	10	88			
5	8	小川 友幸	ホンダRTL301RR	TEAM MITANI Honda	6	10	7	9	5	11	3	16	3	16	2	20	82			
6	4	野崎 史高	ヤマハTY-E 2.2	Team NOZAKI YAMALUBE YAMAHA	7	9	3	16	6	10	8	8	4	13	7	9	65			
7	6	久岡 孝二	ホンダRTL301RR	HRCクラブ MITANI	5	11	6	10	4	13	6	10	7	9	5	11	64			
8	10	武井 誠也	ベータEVO 2T	FINE&SWM&BETA	9	7	9	7	9	7	7	9	9	7	9	7	45			
9	9	田中 善弘	ホンダRTL301RR	HRCクラブばあくらふと&HD 八尾	6	8	8	8	8	8	9	7	8	8	10	6	44			
10	11	平田 貴裕	SCORPA SCF-300	SCORPA JAPAN & チームエクセル	10	6	10	6	12	6	10	6	10	6	11	5	35			
11	12	高橋 寛牙	SHERCO STF	Sherco Japan	11	5	11	5	11	5	11	5	11	5	12	4	29			
12	13	黒山 陣	SHERCO STF	Sherco Japan	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	13	13			

IA 国際A級

順位	ゼッケン	選手	R1		R2		R3		R4		R5		R6		合計 ポイント	和歌山・湯浅		
			順位	P	順位	P	順位	P	順位	P	順位	P	順位	P		順位	獲得P	合計P
1	2	黒山 太陽	6	10	2	20	1	25	3	16	1	25	1	25	121			
2	7	宮澤 陽斗	1	25	5	11	2	20	6	10	7	9	2	20	95			
3	10	平田 雅裕	2	20	4	13	3	16	15	1	6	10	5	11	71			
4	5	磯谷 玲	3	16	3	16	7	9	7	9	3	16	11	5	71			
5	12	磯谷 郁	4	13	7	9	4	13	5	11	4	13	6	10	69			
6	13	永久保 圭	5	11	10	6	6	10	9	7	8	8	3	16	58			
7	8	岡村 将敏	7	9	11	5	11	4	13	5	11	7	9	58				
8	3	本多 元治	9	7	6	10	-	-	2	20	2	20	-	-	57			
9	9	浦山 瑞希	-	-	1	25	-	-	-	-	-	4	13	38				
10	02	寺澤 迪志	11	5	12	4	8	8	12	4	12	4	15	1	26			
11	6	野本 佳章	-	-	-	-	-	-	1	25	-	-	-	-	25			
12	16	村田 慎示	15	1	9	7	-	-	8	8	13	3	10	6	25			
13	57	山崎 頌太	10	6	8	8	-	-	-	-	-	-	8	8	22			
14	17	尾藤 正則	12	4	-	-	12	4	11	5	9	7	-	-	20			
15	29	神長 敬摩	16	0	16	0	9	7	17	0	14	2	12	4	13			
16	43	徳丸 新伍	14	2	-	-	-	-	10	6	11	5	-	-	13			
17	20	小椋 陽	13	3	-	-	-	-	-	10	6	-	-	-	9			
18	14	中里 侑	8	8	24	0	-	-	-	-	-	-	-	-	8			
19	25	村田 隼	19	0	15	1	11	5	18	0	-	-	14	2	8			
20	21	森岡 慎哉	-	-	17	0	-	-	-	-	-	9	7	7				
21	26	Chen wenmao	-	-	-	-	10	6	21	0	-	-	-	-	6			
22	22	鈴木 克敏	17	0	14	2	-	-	-	-	15	1	13	3	6			
23	24	小谷 徹	-	-	13	3	15	1	14	2	18	0	17	0	6			
24	18	小野田 理智	-	-	-	-	-	-	13	3	-	-	-	-	3			
25	61	袋井 就介	-	-	22	0	13	3	-	-	-	-	-	-	3			
26	46	佐伯 竜	21	0	20	0	14	2	-	-	16	0	16	0	2			

2026 全日本トライアル選手権 開催スケジュール

R1	愛知・岡崎	4/12	キョウセイドライバースランド
R2	もてぎ(栃木)	5/31	モビリティリゾートもてぎ
R3	北海道・和寒	6/21	わっさむサーキット
R4	宮崎・えびの	7/12	えびの市矢岳高原トライアルコース
R5	広島・三次灰塚	9/13	灰塚ダムトライアルパーク
R6	宮城・SUGO	10/11	スポーツランド SUGO
R7	和歌山・湯浅	10/25	湯浅トライアルパーク
R8	City Trial Japan	11/29	平安神宮前 岡崎公園 京都府 (IASのみ)

全日本選手権では1位から15位までに、順位に応じたポイントが与えられる。同点の場合、最上位成績のよい者が上位、さらに同順位の場合は、直近大会の成績がよい者が上位となる。

順位と取得ポイント

1位 25P / 2位 20P / 3位 16P / 4位 13P / 5位 11P / 6位 10P / 7位 9P / 8位 8P / 9位 7P / 10位 6P / 11位 5P / 12位 4P / 13位 3P / 14位 2P / 15位 1P

LTR レディース

順位	ゼッケン	選手	R1		R2		R3		R4		R5		R6		合計 ポイント	和歌山・湯浅		
			順位	P	順位	P	順位	P	順位	P	順位	P	順位	P		順位	獲得P	合計P
1	1	中川 瑠菜	1	25	2	20	1	25	1	25	1	25	2	20	140			
2	4	寺澤 心結	2	20	1	25	2	20	2	20	2	20	1	25	130			
3	9	ソフィア・藤村	-	-	3	16	3	16	3	16	3	16	3	16	80			
4	11	泉心愛莉	-	-	-	-	-	-	4	13	4	13	4	13	39			
5	2	小玉 絵里加	3	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16			
6	8	清水 さやか	4	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13			
7	7	中澤 瑛真	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	11	11			

IB 国際B級

順位	ゼッケン	選手	R1		R2		R3		R4		R5		R6		ポイント 合計 順位	和歌山・湯浅		
			順位	P	順位	P	順位	P	順位	P	順位	P	順位	P		順位	獲得P	合計P
1	10	辻本 雄河	1	25	1	25	10	6	2	20	5	11	1	25	112			
2	24	岩間 隆介	4	13	2	20	16	0	3	16	2	20	5	11	80			
3	51	楠 貴裕	22	0	3	16	1	25	8	8	3	16	4	13	78			
4	18	河野 剛	9	7	4	13	5	11	7	9	1	25	9	7	72			
5	1	林 大作	3	16	-	-	3	16	9	7	6	10	-	-	49			
6	3	青山 宏	8	8	5	11	14	2	4	13	13	3	7	9	46			
7	19	上福岡 明男	2	20	-	-	-	-	1	25	R	0	-	-	45			
8	30	米澤 健	28	0	11	5	2	20	14	2	9	7	12	4	38			
9	2	西村 健志	11	5	18	0	-	-	6	10	4	13	6	10	38			
10	62	関田 志毅	14	2	7	9	-	-	-	-	7	9	3	16	36			
11	4	大内 朋幸	-	-	8	8	-	-	-	-	-	-	2	20	28			
12	11	中村 雄樹	29	0	6	10	-	-	-	-	8	8	13	3	21			
13	9	袋井 棕介	19	0	10	6	8	8	19	0	11	5	14	2	21			
14	28	三好 一也	6	10	-	-	-	-	15	1	12	4	-	-	15			
15	21	八木 修身	42	0	21	0	4	13	-	-	25	0	21	0	13			
16	119	笹原 智紘	-	-	-	-	-	-	5	11	34	0	-	-	11			
17	85	山田 敬典	5	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11			
18	72	鈴木 逸馬	39	0	15	1	6	10	21	0	31	0	16	0	11			
19	83	鈴木 大空翔	35	0	12	4	9	7	24	0	-	-	-	-	11			
20	120	浦中 信宏	-	-	-	-	-	-	11	5	10	6	-	-	11			
21	87	岩見 秀一	26	0	-	-	7	9	-	-	35	0	-	-	9			
22	14	元谷 裕一	7	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9			
23	13	長谷川 一樹	-	-	24	0	-	-	-	-	-	-	8	8	8			
24	22	栗原 賢司	49	0	13	3	12	4	23	0	-	-	15	1	8			
25	60	横森 一樹	-	-	9	7	-	-	-	-	-	-	-	-	7			
26	41	前田 将樹	46	0	31	0	21	0	18	0	33	0	10	6	6			
27	40	後藤 研一	-	-	-	-	-	-	10	6	-	-	-	-	6			
28	15	梶山 政登	10	6	-	-	-	-	-	-	20	0	-	-	6			
29	25	三瓶 宏和	-	-	19	0	-	-	-	-	-	-	11	5	5			
30	26	渡辺 洋輔	-	-	-	-	11	5	-	-	-	-	33	0	5			
31	27	三好 弘祐	25	0	17	0	15	1	12	4	18	0	-	-	5			
32	82	斎江 知興	12	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4			
33	54	道上 耕司	32	0	-	-	-	-	13	3	-	-	-	-	3			
34	69	高山 和広	55	0	40	0	13	3	30	0	22	0	27	0	3			
35	88	高橋 大介	13	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3			
36	32	藤川 一夫	24	0	20	0	17	0	32	0	14	2	19	0	2			
37	31	斉藤 隆志	36	0	14	2	-	-	-	-	36	0	23	0	2			
38	8	西 宏次	20	0	-	-	-	-	29	0	15	1	17	0	1			
39	20	辻本 龍司	15	1	-	-	-	-	44	0	-	-	-	-	1			

国際A級スーパー International A Super Class

2

氏川 政哉

Seiya UJIKAWA / YAMAHA



三重県四日市出身の23歳。自転車、TRGC、IB、IAとチャンピオン総なめにし2018年からIASを走り、ここまでに9勝。2024年からヤマハTY-Eに乗り、IASでのEV初勝利をあげた。2026年は開幕2連勝含み3勝。

5

柴田 暁

Akira SHIBATA / TRRS



SS男の異名もとる、超人的走破力を発揮する元気いっぱい的大阪人。2026年開幕戦で2位入賞してシーズンをスタート、第3戦ではついに初優勝を得た37歳の注目株。イベントの主催にも積極的に取り組んでいる。

8

小川 友幸

Tomoyuki OGAWA / Honda



歴代最多のV14王者。デモにスクール、バイクによる災害支援、動画配信、イベント主催とに大活躍だが、昨年は負傷で大半を欠場、今季はカムバック戦となる。三重県四日市出身の50歳。全日本勝利数は58勝。

11

平田 貴裕

Takahiro HIRATA / Scorpa



IASでの負傷からIAを2年走り、チャンピオンを獲得してIASに復帰を果たした。愛知県の37歳。2006年IBチャンピオン、2025年IAチャンピオン。兄の雅裕と入れ替わりでIASを走る権利を得た。

アウトドアフィールドでは、これが今シーズン最後の戦いとなる。日本のトップ中のトップ12人による日本の頂上決戦。セクション難易度の高さも半端ではない。一日の最後におこなわれるSSまで、戦いは一日中、目が離せない。今シーズンは氏川政哉の好調が光るが、氏川の間を狙う伏兵ばかりが勢ぞろいだ。

3

小川 毅士

Tsuyoshi OGAWA / Beta



2025年に初のランキング3位と、39歳にして大きな成長実績を残した。そして今シーズンは第4戦、第6戦と2勝をあげ、自身4勝目をマーク。ランキング2位に浮上した。茨城県オフロードパークSHIRAI管理人。

6

久岡 孝二

Koji HISAKA / Honda



2025年、初の3位表彰台獲得、スケールの大きなライディングで、さらに上位を目指す。2016年IAチャンピオンの、岐阜出身26歳。今シーズンの最高位は第3戦の4位。毎戦異なるマシンのカラーリングが特徴。

9

田中 善弘

Yoshihiro TANAKA / Honda



黒山健一、小川友幸といっしょに育った石川県の大ベテラン50歳。堂々トップ10に入り、今年もIASを走る権利を得た。IAでは2度のチャンピオンを獲得して、IB時代には藤波貴久を破った実績もある。

12

高橋 寛冴

Hiroki TAKAHASHI / Sherco



16歳でTRGC2位、17歳でIB3位、22歳のIAでは2勝をしながら惜しいところでタイトルを逃したが、無冠の帝王としてIASに挑戦。若いパワーがどこまで結果につながるか、楽しみ。神奈川県出身の23歳。

4

野崎 史高

Fumitaka NOZAKI / YAMAHA



自転車世界選手権、2002 FIMジュニアカップ、全日本IAとタイトルを獲得。2024年は負傷で半分を欠場したが、2025年にはカムバック勝利を飾り、全日本勝利数を12勝とした。埼玉県小川町出身、43歳。

7

武田 呼人

Yohito TAKEDA / Honda



2019年IAチャンピオン。3年間のスペイン修業を経て全日本に復帰。2024年シーズンオフにひざを手術して、心機一転のHondaでの2年目。今シーズンは6戦中4連で続表彰台を獲得。三重県多気町出身の24歳。

10

武井 誠也

Masaya TAKEI / Beta



2018年IAチャンピオン。IAS昇格後はランキング10位以内を守り、SS常連の地位を固めつつある。現在までの最上位は7位。山梨出身の明るい29歳は、マシンを乗り換えて2年目、さらに上位を狙う。

13

黒山 陣

Jin Kuroyama / Sherco



GCチャンピオンを経て2023年IAチャンピオン獲得の兵庫県出身17歳。2024年スポットで世界選手権T3に参戦、ランキング12位、2025年はフル参戦ランキング4位。今シーズンはT2ランキング17位。

国際A級 International A Class

2

黒山 太陽

Tao KUROYAMA / Sherco



兄ふたり、父、おじさん、おじいさんがみんな国際A級のトライアル一家。弱冠14歳にしてIA参戦4年目にして、シーズン3勝をあげて全日本タイトルを獲得した。兄弟でのIAタイトル獲得は、初めてだ。

7

宮澤 陽斗

Haruto MIYAZAWA / Beta



2017年TRGC優勝、2019年にIA昇格し、2024年IAランキング2位でIAS入り。2度のSS進出などの活躍を見せつつ、今シーズンは再びIAに。開幕戦で自身初めてのIA優勝を得る。茨城県出身の22歳。

12

磯谷 郁

Kaoru ISOGAYA / Beta



小学生時代から兄の玲のアシスタントとして全日本で活動開始、トライアルとともに育った。3年にわたってIASを走り、2023年にはSSにも進出した。IA挑戦の今季は最高位が4位の静岡県出身24歳。

レディース Ladies Trial Class

1

中川 瑠菜

Runa NAKAGAWA / Beta



2023年にIB昇格、2025年にレディースの王座を射止めた。愛知県出身の大学生は、2年連続のレディースチャンピオンを狙う。有終の美を飾って二回目のチャンピオン獲得に華を添えられるか。

国際B級 International B Class

10

辻本 雄河

Yuga TSUJIMOTO / TRRS



2022年に3戦に出場、1勝した実績あり、久々の全日本参戦となるが、開幕2戦で2連勝と一躍チャンピオンの最有力候補に躍り出て、以後着実にポイントを抑え、第6戦で勝利してチャンピオンを決めた。

今大会は、35名が参加するIAクラス。チャンピオンシップの上位を勝ち抜くためには、華麗なテクニクを、常に安定して発揮する必要がある。ここまでの4戦で4名の勝利者が出るという、全日本一番の激戦区。元IASの大挙出場で、このクラスのレベルアップも著しい。そんな中で抜きんでてくる者は、誰か!?

3

本多 元治

Motoharu HONDA / Honda



1991年IB、2001年IAチャンピオン獲得、2002年にIASを経験した後、IAにスポット参戦して優勝争いする職人技を披露している。埼玉県出身52歳。埼玉のオラガバレーでトライアルの先生業にも忙しい。

8

岡村 将敏

Masatoshi OKAMURA / TRRS



栃木県出身51歳。茨城県真壁トライアルランドを拠点に、若手や入門ライダーの育成に尽力している。2015年IAチャンピオンで、11年間IASを走った。関東ライダーの筆頭株として、若手に負けじとがんばる。

13

永久保 圭

Kei NAGAKUBO / Beta



ジュニアライセンスから一気にIB昇格、IB2年目でIAに昇格した静岡県出身14歳。この夏は、ヨーロッパでのトライアル修業に励んだ。元IASの泰平が父。実家はトライアルショップのトライアル一家。

レディースクラスが始まって11年目。すっかり世代交代した今シーズンは、参加者は少ないながら、大きなうねりが起きている。女子大生の中川と中学生の寺澤、そしてブラジル出身の米澤、さらに弱冠10歳の泉、大学生の中澤と、それぞれの特徴あるライディングに、ぜひ注目して観戦してほしい。

4

寺澤 心結

Miyu TERAZAWA / Beta



寺澤家の小さな大型新人、13歳の中学生。2026年はチャンピオン中川を2度 にわたって破る快挙を見せた。毎戦毎戦、確実にテクニクを伸ばしていて、うまさも強さも急成長中。最終戦での3勝目が期待される。

国際B級75名が参加。今季初出場が9名。3名の今季優勝経験者、26名のポイントランカーを迎え、地元和歌山からは3名が参加する(うち1名は過去の優勝経験者)。ライダーたちの気持ちのこもった戦いを応援してほしい。今シーズンの新チャンピオンが有終の美を決められるかも注目だ。

24

岩間 隆介

Ryusuke IWAMA / Montesa



2020年にNBクラスで選手権デビュー、翌年、TRGCで7位に入りIBに特別昇格、今年は5年目のIB参戦。全日本参戦初年度からポイント獲得の注目株。今季は3回の表彰台獲得で、ランキング暫定2位。

5

磯谷 玲

Akira ISOGAYA / Beta



9年間のIAS挑戦を経て、IAで新たな挑戦に挑む。毎戦トップ争いから入っている。そのトライアルスタイルは独特で楽しい。父、姉、弟とみんなライダーのトライアル一家。静岡で小学校の先生を務める30歳。

10

平田 雅裕

Masahiro HIRATA / Scorpa



平田兄弟の年子の兄で、2006年IBチャンピオン。2018年からIASを走り、今季はふたたびIAで戦う愛知県出身の39歳。今シーズンは2位と3位、2回の表彰台獲得を果たしている。

02

寺澤 迪志

Yushi TERAZAWA / Beta



IBランキング2位で昇格を果たした成長株のルーキー、愛知県出身の15歳。全日本は3年目になる。元IASのTRProduct代表、寺澤慎也の長男、レディースの寺澤心結は妹、こちらもトライアル一家。

9

ソアレス米澤ジェシカ

Jessica YONEZAWA SOARES / TRRS



ブラジル出身の異色全日本ライダー。2018年からこのクラスに参戦、何度かの負傷欠場を経て、走れることをよりの喜びとする。彼女の存在が、日本のレディースにひとときわかる光を注ぎ込んでいる。

51

楠 貴裕

Takahiro KUSUNOKI / TRRS



第2戦で初ポイント初表彰台となる3位入賞を果たし、第3戦で初優勝の快挙を達成、以後、岩間とランキング2位争いを展開中。2022年にはレディース全日本のチャンピオンアシスタントにもなっている。

2026 ALL JAPAN TRIAL CHAMPIONSHIP

全日本トライアル選手権
第7戦 和歌山・湯浅大会

全日本トライアル選手権
第7戦 和歌山・湯浅大会 エントリーリスト

各ライダーのスタート時間は MFJ 公式トライアルファンサイト
「TRJ」をご確認ください。https://mspro.jp/trj/



IAS 国際A級スーパー 10セクション×2ラップ（持ち時間：4時間30分）+SS×2セクション

ゼッケン選手	所属	チーム	メーカー	モデル	アシスタント	
2 氏川 政哉	ウジカワセイヤ	三重	YAMAHA FACTORY RACING TEAM	YAMAHA	TY-E3.0	田中 裕人
3 小川 毅士	オガワ ツヨシ	茨城	Wise Beta Racing	Beta	SINCRO FACTORY 2T	木下 裕喜
4 野崎 史高	ノザキ フミタカ	埼玉	Team NOZAKI YAMALUBE YAMAHA	YAMAHA	TY-E 2.2	関口 康太
5 柴田 暁	シバタ アキラ	大阪	TEAM TRRS & NILS oil	TRRS	TRRS300RR injection	中谷 博彦
6 久岡 孝二	ヒサオカ コウジ	岐阜	HRC クラブ MITANI	Honda	RTL301RR	久岡 誠二
7 武田 呼人	タケダ ヨヒト	三重	TEAM MITANI Honda	Honda	RTL301RR	加賀 国光
8 小川 友幸	オガワ トモユキ	三重	TEAM MITANI Honda	Honda	RTL300R	田中 裕大
9 田中 善弘	タナカ ヨシヒロ	石川	HRC クラブばわあくらふと &HD 八尾	Honda	RTL 301RR	松谷 実
10 武井 誠也	タケイ マサヤ	埼玉	FINE&SWM&BETA	Beta	SINCRO FACTORY 2T	武井 明信
11 平田 貴裕	ヒラタ タカヒロ	愛知	SCORPA JAPAN & チームエクセル	SCORPA	SCF-300	平田 篤
12 高橋 寛冴	タカハシ ヒロキ	神奈川	Sherco Japan	SHERCO	STF	日下 達也
13 黒山 陣 (rme/FIM)	クロヤマ ジン	兵庫	ShercoJapan	SHERCO	STF300	黒山 陸一

IA 国際A級 10セクション×2ラップ（持ち時間：5時間）

ゼッケン 選手	所属	チーム	メーカー	モデル	アシスタント	
2 黒山 太陽	クロヤマ タオ	兵庫	ShercoJapan	SHERCO	300ST	黒山 二郎
3 本多 元治	ホンダ モトハル	埼玉	Fine&OragaValleyTRIALS	Honda	RTL301RR	
5 磯谷 玲	イソガヤ アキラ	静岡	Beta TRproduct	Beta	SINCRO	磯谷 豊
7 宮澤 陽斗	ミヤザワ ハルト	茨城	Team Wise	Beta	SINCRO 2T	宮澤 富士夫
8 岡村 将敏	オカムラ マサシ	栃木	TEAM TOPDOGS	TRRS	ONE RR	
10 平田 雅裕	ヒラタ マサヒロ	愛知	SCORPA JAPAN& チームエクセル	SCORPA	SCF-300	
12 磯谷 郁	イソガヤ カオル	静岡	Beta TRproduct	Beta	SINCRO 2T	
13 永久保 圭	ナガクボ ケイ	静岡	TEAM BIGBOX BETA	Beta	SINCRO FACTORY 2T	永久保 恭平
16 村田 慎示	ムラタ シンジ	三重	HRC クラブ MITANI	Honda	RTL260R	上田 万法
17 尾藤 正則	ビトウ マサノリ	岡山	TEAM Beat&ZEON	SHERCO	ST-F300	
22 鈴木 克敏	スズキ カツシ	神奈川	HRC クラブ関東 SW まるやま	Honda	RTL301RR	
25 村田 隼	ムラタ ハヤト	三重	VERTIGO with MITANI	Vertigo	NITRO2.5	村上 慈恩
27 坂井 翔	サカイ ショウ	長崎	TEAM RIDEMAGIC	TRRS	TRSI 300	霜野 健一
28 西 和陽	ニシ カズアキ	鹿児島	CLUB MWM	Montesa	COTA301RR	
29 神長 勲摩	カミナガ エマ	栃木	Sherco JAPAN & TOP DOGS	SHERCO	ST-F	神長 利行
32 小谷 一貴	コタニ カズキ	京都	チームアズーロ	Honda	RTL301R	川崎 雅久
02 寺澤 迪志	テラザワ ユウシ	愛知	Team Beta TRproduct	Beta	SINCRO 2T 250 Factory	山森 篤志
03 岡 直樹	オカ ナオキ	群馬	モトベント & チームペコ	Beta	Evo 2T	岡 章広
04 小倉 功太郎	オグラ コウタロウ	兵庫	TEAM MITANI	Montesa	COTA301RR	小倉 暁
05 大櫃 千明	オオビツ チアキ	静岡	知多 & ヤマハ発動機トライアルクラブ	Montesa	COTA301RR	
40 藤井 俊彦	フジイ トシヒコ	新潟	team NOSIDE	Honda	RTL300R	水島 聡
41 伊藤 紀夫	イトウ ノリオ	愛知	エクセル	GASGAS	GP300	
42 松井 宏憲	マツイ ヒロノリ	東京	OragaValleyTrials-DEMEKIN	SHERCO	STF300	
43 徳丸 新伍	トクマル シンゴ	宮崎	HRC クラブばわあくらふと &HD 八尾	Honda	RTL301RR	
44 吉本 由輝	ヨシモト ユウキ	静岡	SCORPA JAPAN	SCORPA	SC250	吉本 貴裕
47 本田 隆史	ホンダ タカシ	大阪	team t2y	GASGAS	TXT-PRO 21	本田 達也
49 小沼 侑暉	オヌマ ユウキ	静岡	トライアルしずおか× IRC	SHERCO	STF300	
51 河津 浩二	カワヅ コウジ	福岡	iRC 高倉トライアル	Beta	Evo 2T 300	
52 辻 誠史	ツジ マサシ	大阪	テクノアート	Honda	RTL260R	川崎 喬介
53 中村 康平	ナカムラ コウヘイ	愛知	Club GEOMAX	Beta	SINCRO 2T 300	
55 川添 蒼太	カワゾエ ソウタ	三重	VELTIGO with MITANI	Vertigo	NITORO	

ゼッケン	選手	所属	チーム	メーカー	モデル	アシスタント
58	小泉 瞬	コイズミ シュン 茨城	HRCクラブ関東 SW まるやま with ネモトスポーツ	Honda	RTL260Fn	小泉 清隆
59	武中 裕輝	タケナカ コウキ 岡山	club MWM	SHERCO	ST300	
60	喜屋武 蔵人	キャタケ クロウ 神奈川	OragaValleyTRIALS	SHERCO	STF-300E	
66	杉木 直志	スギキ ナオシ 京都	チームアズーロ	SHERCO	STF300	

LTR レディース 10セクション×2ラップ（持ち時間：5時間）

ゼッケン	選手	所属	チーム	メーカー	モデル	アシスタント	
1	中川 瑠菜	ナカガワルナ	愛知	WiseBetaRacing	Beta	SHINCRO	中川 芳治
4	寺澤 心結	テラザワミュ	愛知	Team Beta TRproduct	Beta	Evo 2T 125	寺澤 慎也
7	中澤 瑛真	ナカザワエマ	東京	Team SHIRAI & Skill up	Beta	Evo 2T 300	中西 公彦
9	ソリス輝ソフィ	ソリスネガツェソ	愛知	TEAM そらしど IRC	TRRS	ONE RR	
11	泉 心愛莉	イズミミアリ	滋賀	team そらしど TKC	MECATECNO	DRAGONFLY	泉 聖輝

IB 国際B級 10セクション×2ラップ（持ち時間：5時間）

ゼッケン	選手	所属	チーム	メーカー	モデル	アシスタント
1	林 大作	ハヤシ ダイサク 広島	ケニーズクラブ、セトウチベース	TRRS	300 ONE RR	野田 大作
2	西村 健志	ニシムラ タケシ 滋賀	トライアルクラブ Tom's	TRRS	RR300FI	
3	青山 宏	アオヤマ ヒロシ 滋賀	チームアズーロ	Honda	RTL260R	吉澤 文彦
7	鈴木 崇史	スズキ タカシ 愛知	teamKOJIRO	Beta	Evo 2T	
8	西 宏次	ニシ コウジ 山口	チーム周南	Montesa	COTA301RR	谷口 隆
9	袋井 棕介	フクロイ リョウスケ 神奈川	IRC タイヤ	SHERCO	STF250	江崎 良行
10	辻本 雄河	ツジモト ユウガ 大阪	マッチレーシング	TRRS	300i	
11	中村 雄樹	ナカムラ ユウキ 愛知	知多トライアルクラブ	GASGAS	TXT GP 300	
12	天田 昇平	アマダ ショウヘイ 岐阜	KAYABA RACING	TRRS	RAGA RACING 300	
14	元吉 裕一	モトヨシ ユウイチ 愛知	チームドリーム	Honda	RTL300R	
15	梶山 政登	カジヤマ マサト 大阪	TEAM OPMC	SHERCO	st300	
17	西沢 明人	ニシザワ アキト 埼玉	Oraga Valley TRIALS	Honda	RTL301RR	
18	河野 剛	コウノ ツヨシ 兵庫		TRRS	TR1 300	
20	辻本 龍司	ツジモト タツジ 大阪	近藤マッチレーシング	TRRS	300i	
21	八木 修身	ヤギ オサミ 埼玉	さくら TSR メッツ不老天狗 SNTJ はいおけ	TRRS	300RR	
22	栗原 賢司	クリハラ ケンジ 群馬	上州トライアル & モトベント	Honda	RTL260R	
23	田中 聖志	タナカ キヨシ 東京	チーム羽生山	Beta	Evo 2T	
24	岩間 隆介	イワマリユスケ 静岡	HRC クラブ荘内	Honda	RTL300R	岩間 雄次
28	三好 一也	ミヨシ カズヤ 徳島	TEAM-PAZZO	TRRS	TR 300	
29	長谷川 翔馬	ハセガワ ショウマ 静岡	ヤマハ発動機トライアルクラブ & トライアルライダーズ	Honda	RTL260R	
30	米澤 健	ヨネザワ ケン 愛知		Honda	RTL300R	
31	斉藤 隆志	サイトウ タカシ 東京	clubMWM	Honda	RTL300R	
33	島田 武男	シマダ タケオ 岡山	チームカシック & アイエスツール	TRRS	RAGA RACING	浅野有紀
35	奥田 欽哉	オオクダ キンヤ 三重	TEAM MITANI	TRRS	ONE GOLD 300	
36	武内 祐徳	タケウチ ヒロノリ 埼玉	白井 HED トライアル部 & OragaValley	TRRS	ONE-RR250	
37	山下 修	ヤマシタ オサム 千葉	BCK R Buddy Garage46	SCORPA	SCT	
38	中村 和之	ナカムラ カズキ 兵庫	爆烈おやじ	Beta	Evo 2T Factory	
40	後藤 研一	ゴトウ ケンイチ 鹿児島	鹿児島トライアルチームやじろべえ+PPG	GASGAS	RACING TXT	
41	前田 将樹	マエダ マサキ 静岡	ヤマハ発動機トライアルクラブ	YAMAHA	TYS250Fi	西辻 理央
44	寺田 智恵子	テラダ チエコ 愛知		TRRS	RR	寺田 太郎
46	杉浦 守	スギウラ マモル 愛知	チーム エクセル	TRRS	TRS TR1 300	
49	富田 正義	トミダ マサヨシ 三重	HRC クラブ MITANI	Honda	RTL260F	

2026 ALL JAPAN TRIAL CHAMPIONSHIP

全日本トライアル選手権
第7戦 和歌山・湯浅大会 エントリーリスト

IB		国際B級		10セクション×2 ラップ （持ち時間：5 時間）			
ゼッケン	選手	所属	チーム	メーカー	モデル	アシスタント	
51	楠 貴裕	クノキタヒロ	愛知	Club GEOMAX	Honda	RTL260R	
53	宮嶋 清次	ミヤジマキョウジ	静岡	club MWM	Honda	RTL300R	
54	道上 耕司	ミチカミ コウジ	徳島	TEAM PAZZO	Beta	Evo 2T 300	
55	辰己 直	タツミ ナオ	和歌山	TAKESHI 軍団	TRRS	ONE RR	飯田 修
57	城崎 貴廣	シロサキタヒロ	富山	ばわあくらふと ホンダドリーム八尾	Honda	RTL300	
58	原嶋 明夫	ハラシマアキオ	埼玉	秩父 WET	Honda	RTL	
59	江田 勝尚	エダ カツナオ	埼玉		EM	factor-e 2025	
61	古市 右京	フルイチウキョウ	埼玉	HRC クラブ MITANI	Honda	RTL260R	
62	関田 志毅	セキタ シキ	静岡	TEAM BIGBOX	Beta	Evo 2T 300	関田 智昭
63	岡本 英仁	オカモトヒデト	静岡	知多トライアルクラブ	SCORPA	SCR	
64	谷中 真一	ヤナカ シンイチ	茨城	club MWM	SHERCO	STF	
65	佐藤 信一郎	サトウシンイチロウ	茨城	BuddyTrialClub	Beta	Evo 2T	
66	斉藤 洋一	サイトウ ヨウイチ	大阪		Honda	RTL301RR	
67	藤見 和志	フジミ カズシ	徳島	TEAM-PAZOO	Honda	RTL260R	
69	高山 和広	タカヤマカズヒロ	茨城	TOP DOGS	TRRS	one	
72	鈴木 颯馬	スズキ フウマ	埼玉	team KOMA	Beta	Evo 2T	鈴木 祐
73	市村 謙太郎	イチムラケンタロウ	栃木	Bergbach/ 嵐山不老天狗	Beta	Evo 2T	
77	森 育美	モリ イクミ	京都	TOOLBOX トライアル同好会	Honda	RTL300R	
78	熊倉 隆広	クマクラタヒロ	兵庫	TEAM TOOL BOX	TRRS	ONE RR	
80	松田 強	マツダ ツヨシ	三重	team MRF	Beta	Evo 2T	
81	百瀬 伸一	モモセ シンイチ	東京	TEAM Oraga Valley TRIALS SUR	Beta	SINCRO 2T	
84	若林 敬	ワカバヤシケイ	埼玉	秩父 WET	SHERCO	STF	
85	山田 敬典	ヤマダケイスケ	静岡	チームエクセル	Honda	RTL300	
86	長谷部 佑弥	ハセベ ユウヤ	埼玉	Honda ブルーヘルメット MSC	Honda	RTL300R	
87	岩見 秀一	イワミ シュウイチ	兵庫	チームナミタ & ウインド	GASGAS	TXTー GP	
92	小淵 颯輝	コブチ サツキ	静岡	ヤマハ発動機トライアルクラブ	EM	Epure Race	
93	荒生 和人	アラオ カスト	山形	HRC クラブ荘内 & ホンダドリーム酒田・秋田	Honda	RTL300R	
96	五十嵐 大樹	イカラシ ダイキ	広島		Beta	Evo 2T	
100	水野 大冊	ミズノ ダイサク	茨城	BuddyTrialClub	Vertigo	Nitoro	
103	佐藤 定光	サトウ サダミツ	宮崎		SHERCO	st3.0	
114	大西 弘晃	オオニシヒロアキ	岡山		EM	epure	
117	阿部 一弘	アベ カズヒロ	埼玉	Team KOMA	Beta	Evo 2T	
125	塚崎 隼也	ツカザキ ジュンヤ	長崎	Team Ride Magic	Honda	RTL	
129	武藤 翔吾	ムトウ ショウゴ	和歌山	テクノアート	Honda	RTL300	
141	小南 欣三	コナミ キンゾウ	愛知	知多トライアルクラブ	SHERCO	ST300factry	
142	近藤 岳彦	コドウ タケヒロ	愛知	知多トライアルクラブ	Honda	RTL260R	
143	上田 博之	ウエダ ヒロユキ	京都	トライアルクラブ TOM' S	TRRS	ONE RR-E Electric Start	
144	朝倉 匠	アサクラ タクミ	愛知	team LEO	Beta	Evo 2T	
145	川崎 成弥	カワサキ セイヤ	東京	HRC クラブ関東 SW まるやま	Honda	RTL300RF	
146	岡崎 良介	オガザキ リョウスケ	高知	SOSS	Vertigo	Vertical	
147	和田 弘行	ワダ ヒロユキ	和歌山	DINORACING	GASGAS	TXTGP300	
148	奥野 翼	オクノ ツバサ	静岡		GASGAS	TXT GP300	
149	波多野 一隆	ハタノ カズタカ	京都	チームアズーロ	Honda	RTL260R	

OPT		オープントロフィー 10セクション×2ラップ（持ち時間：5時間）				
1	喜岡 修	キオカ オサム	兵庫	チームウインド温泉は楽しクラブ	Honda	RTL300

湯浅トライアルパーク MAP



スタート時間	
OPT オープントロフィー	7:20 ~
IB 国際B級	7:21 ~
LTR レディース	8:00 ~
IA 国際A級	8:05 ~
IAS 国際A級スーパー	9:44 ~

10セクション×2ラップ 持ち時間	
IAS	4時間30分
IA/LTR/IB/OP	5時間
+	
IAS SS1 SS2	14:30 ~

Rikizoh

AIROH TRR II

NEW
MFJ 公認
申請中!

TRR II COLOR
¥42,300 (税込)

Black Matt

TRR II JUPITER
¥52,800 (税込)

Dark Gray Gloss

TRR II HUNT
¥52,800 (税込)

White Gloss

TRR II CARBON
¥72,600 (税込)

Blue / Yellow Gloss

TRR II JUPITER
¥52,800 (税込)

Orange Matt

TRR II HUNT
¥52,800 (税込)

Red Gloss

TRR II CARBON
¥72,600 (税込)

Blue / Red Gloss

TRR II JUPITER
¥52,800 (税込)

Yellow Matt

TRR II HUNT
¥52,800 (税込)

Glossy

サイズ: XS・S・M・L・XL・XXL 材質: 複合カーボン 重量: 970g±50g

マッスル4 テーパーハンドルバー

ポジションはスタンダードにこだわりました。誰にも好まれるポジションで安心した操作ができます。

NEW
¥14,000 (税込)

サイズ: 4.5 インチ
材質: A7075 超ジュラルミン
幅: 810 ミリ

マスターシリンダー / グリップ
取付部寸法: 240 ミリ

TRAPPER IV

みんなの声で帰ってきた!!
待望の4代目復活!!

¥99,000 (税込)

※スタンドは付属しておりません→

POWER CRAFT **ぱわあくらふと**
〒574-0025 大阪府大東市御供田3-17-37
TEL 072-872-2141 FAX 072-870-5236
E-mail info@power-craft.co.jp
www.power-craft.co.jp

HRC
SERVICE SHOP

当店は、HRC (株式会社ホンダ・レーシング) から認定を受けた、HRC 製品正規取扱店 (サービスショップ) です。
当店で、サービスショップだけが可能なHRC二輪製品の販売からメンテナンスに加え、各種HRCパーツやHRC補修パーツの販売まで、HRCの正規取扱店として皆様のレーシングシーンを強力にサポートします。

携帯サイト

SHERCO

SHERCO 2026 ST FACTORY / ST-E FACTORY

2026 シェルコ ST FACTORY シリーズが大きく進化しました。セルスターター仕様 ST-E (250、300 のみ) と、キック始動のみの ST を選べます。改良されたクランクシャフト、デコンプシリンダーヘッドなど、エンジン細部の改良とインジェクションの新しいマッピングにより、柔軟性のあるレスポンスとグリップ感を生み出しています。ライディングの妨げにならないスリム・コンパクトなスターターモーターの配置と形状、コンパクトなバッテリー。そしてイグニッションコイル、ワイヤーハーネス、オルタネーターなど改良点は多数。始動性を向上するインジェクションウェイクアップボタンを新装備。

ST FACTORY 125	¥1,485,000 (税込)
ST FACTORY 250	¥1,485,000 (税込)
ST FACTORY 300	¥1,485,000 (税込)
ST-E FACTORY 250	¥1,540,000 (税込)
ST-E FACTORY 300	¥1,540,000 (税込)

※配送費用別途 ¥22,000 (税込) が必要になります。

SHERCO TY125 ADVENTURE

TY125 ADVENTURE
¥880,000 (税込)
※配送費用別途 ¥22,000 (税込) が必要になります。

4 ストローク 125cc / セルスターター / エンジンを包み込むようにプレスされたアンダーガード / ST と同じスイングアームとリンクシステム / MIKUNI 負圧キャブレター / 油圧クラッチ / チューブタイプのリアホイール / 10 丁のトライアル用スプロケット付属 / 公道走行可・保安部品付き・MFJ 公認車両。

※写真のタンク容量 4.7L の Long Ride Kit (シート付 4.7L 容量タンク / 税込 ¥72,600) は別売になります。

SHERCO JAPAN 〒240-0113 神奈川県三浦郡葉山町長柄 512-1 TEL 046-875-0267 FAX 046-876-5020 <https://www.shercojapan.jp>

車重は70kg 前後。最高速を出すためのパワーはありませんが、静止状態から人の背丈ほどの大岩に飛びつく瞬発力を発揮します。リヤブレーキペダルはつましく引っ込み、チェンジペダルはフットペグから大きく離れていて、ライディング中、意図せず触れない仕様です。

スリムで軽そう! パワーはあるの?

タイヤのブロックがキャラメルみたい

オフロードタイヤらしいブロックパターンだけど、規則で環境にやさしいようにパターンは決まっています。ゴム質はきわめてやわらかく地形を包み込み、空気圧は 30KPa 前後と低圧にセットします。

Sherco ST factory フランス

90 年にスペインで発祥した、長年活躍するメーカー。2 スト・インジェクション仕様でセル始動モデルもある。IAS の黒山陣選手と IA チャンピオンの黒山太陽選手が乗る。

エンジンとモーター どちらでもいいの?

トライアルは、原動機の制限がほとんどなし。500cc でも 250cc でも、モーターでも同じ土俵で勝負です。全日本選手権では 250cc ~ 300cc の水冷エンジンが多数派です。

シートがない? 立って乗るバイク?

ライディングポジションを自由にとれるよう、足つき性をよくするよう、トライアルマシンにはシートがないものが多いです。軽量化にも一役買っていますね。

エンジン下にプレートがある

原動機を衝撃から守るためのガードですが、岩の上に乗せて安定させる意味合いもあるので、スキッドプレートと呼ばれます。

最新トライアルバイクカタログ

Honda RTL 日本 スペイン

2005 年の登場以来、着実な進歩を刻んでいる 4 ストロークエンジンの名車。モンテッサは別ブランドで、中身は同一。武田呼人と小川友幸が乗る。

YAMAHA TY-E 3.0 日本

ヤマハが全精力を挙げて開発した電動マシン。3.0 は第 3 世代で、機械式クラッチとトランスミッションを装備している。最新の 3.0 に氏川政哉が乗る。

Beta SINCRO 2T イタリア

モンテッサと並ぶ老舗トライアルメーカー。世界、全日本とも多くのチャンピオンを輩出している。見た目が同じだが、バリエーションは豊富に揃う。

TTRS ONE RR スペイン

J・タレスが興した新鋭メーカーで、いち早くセルスターを採用しシェアを広げた。伝統的 2 ストエンジンに剛性の高いアルミフレームの組み合わせる。

Scorpa SC factory フランス

創業して四半世紀をすぎ、フューエルインジェクションを装備してさらなるステップに進む。スコルパはシェルコが作る別ブランドで、中身は同一。

GASGAS TXT GP スペイン

1974 年創業でトライアルでは老舗。J・タレス、A・ラガのタイトルで、性能には定評あり。現在は KTM のブランドとしてトライアルの伝統を守る。

Vertigo NITRO WORKS スペイン

フューエルインジェクション (FI)、エンジン上面、エアクリナー、トラスフレームの意欲的構成。2 スト FI を熟成させたのはこのマシンだった。

Erectric Motion フランス

元スコルパ社長が興した電動メーカー。写真はトランスミッション装備の三世代目 FACTORe。小回りの利いた開発が小さなメーカーの大きな強みだ。



Shinya Fujinara



Erika Kodama



M341LF 75W (PRO仕様)

トライアル車・モトクロス等のミッションに使用することを目的とした製品で、低粘度MTFのM341 75Wをベースに、さらに低粘度化を促進し、クッション性等の付与を目的として採用したベースストックTRB0973をあえて除き、ミッション操作における動きをさらにリアに反応すべく設計されています。これらの特性は究極のトライアル車両におけるクラッチ操作においてもアドバンテージをもたらしています。

M342 75W (小玉絵里加モデル)

M341LFの最大の特性である、操作におけるリアな反応性を穏やかにし、操作性を重視した製品です。

Moty's
HYPER LUBRICANT TECHNOLOGY

株式会社 トライボジャパン

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 2-25-4

■TEL: 03-3806-8277 ■営業時間: 10:00~17:00 ■定休日: 土曜・日曜・祝祭日

ひとつ一つのタイヤに 情熱と誇りを込めて。

ジョン・ボイド・ダンロップが実用化した

空気入りタイヤの誕生から130年以上、

オンロードやオフロード

ミニバイクからリッターバイクまで、

あらゆるバイクの足元を

支え続けてきたDUNLOP。

先端技術への挑戦と

厳しい品質管理のもとに

600を超えるサイズラインアップを保有。

タイヤの限界性能が問われる

スーパースポーツに限らず、

走りの質感にこだわるツーリングから

日常的なシティユースまで。

これからも情熱と誇りを込めて

ライダーの走りを支え続けます。



<https://dunlop-motorcycletyres.com/>



YZ450FX

2027 New Series



●写真はプロフェッショナルライダーによる海外のクローズドコースでの走行を撮影したものです。仕様が国内とは一部異なります。
ライダーのヘルメット・ウェア類は国内では販売していません。走行の際はプロテクターを着用しています。

2027 Cross-country Model Lineup

発売日：9月25日 *YZ450FXのみ10月23日／予約受付期間：11月29日まで

※予約が生産計画を上回る場合は、予約受付期間終了を待たずに受付を終了する場合があります。



YZ450FX



YZ250FX



YZ250X



YZ125X



YZシリーズの
詳しい情報はこちらから
<https://www.yamaha-motor.co.jp/mc/lineup/>



BLU CRU YZシリーズ アマチュアオーナー
レース参戦サポートプログラム
今すぐwebでBLU CRUメンバーに登録しよう！

詳しくは
Webを
ご覧ください



Re-mate "B&B"



ヤマハでは、産業二輪車のリサイクルを推進しています。旧リサイクルマークが貼られている車両であっても、廃棄時にリサイクル料金の発生はありません。
※産業二輪取扱店に車両をお預けの場合、収集・運搬費用が別途発生いたします。詳しくは、産業二輪取扱店にお問い合わせください。



YZ シリーズ各モデルは、このサインのあるヤマハプロロードコンペティションモデル正規取扱店でお買い求めください。
※詳細はヤマハホームページでご確認ください。

車両本体に関するお問い合わせは、お近くのヤマハ販売店またはお客様相談センターへ。
ヤマハ発動機株式会社
カスタマー・コミュニケーションセンター
0120-090-819
〒430-8501 静岡県浜松市東区2500
受付時間：月曜～金曜（祝日、弊社指定の休日等を除く）
9:00～12:00 13:00～17:00

●本仕様は予告なく変更することがあります。
●車体色は撮影条件、印刷などにより実際の色と異なる場合があります。
●写真は撮影用のイメージです。仕様が実際のものとは異なる場合があります。

ヤマハ発動機販売株式会社

IRC TIRE
Inoue Rubber Co., Ltd.



This is
where it
all begins.

すべてはここから始まる。



for Competition NEW

ハイパフォーマンスな
トライアルコンペティション
専用タイヤ

TR-011z

size : 4.00R18 4PR

TR-011z PLUS

size : 4.00R18 4PR



250L/250RALLY



Photo: CRF250L

Pro Honda

empower your passion.

Pro Honda オイル&ケミカル

Honda純正オイル&ケミカル「Pro Honda」
環境への配慮とHonda二輪車のエンジン性能を
最大限に引き出す最適なバランスの両立を目指し
開発されたエンジンオイルをはじめ、Honda
二輪車のメンテナンスに適したオイル・ケミカル
をラインアップ。



詳細はPro Honda公式webサイトをご覧ください。▶

